

中井だより

中井やまゆり園

中井やまゆり園の一員として

副園長 麻生 由美

皆様こんにちは。4月に着任しました、副園長の麻生と申します。

障害者支援施設の勤務は初めてとなりますが、かつて担当した福祉の現場で、「やり甲斐のある仕事」と「素晴らしい仲間」に出会えたことから福祉施設には好印象があり、期待に胸を膨らませてまいりました。ご利用者94名、職員168名、委託事業者十数名の大所帯のため、全ての方々とお話するに至っておりませんが、この間、思いやりや温かさを持った素敵な職員が沢山いる職場ではないかと、日々、接する中で感じております。

勿論、ここ数年、中井やまゆり園において事故や不祥事が立て続けに発生していることは承知しておりました。事故等の発生は、ご利用者やご家族の皆様方に多大なご迷惑をお掛けするだけでなく、事故等に係る分析、再発防止対策等に多くの労力が割かれます。職員の皆さんのこれまでの苦勞は計り知れず、疲れ果ててはいないだろうか、どんな思いで仕事をされているのか、思いは尽きません。発生した事故の検証報告などに目を通しますと、本当に責任の重大さを感じ、身が引き締まる思いがいたします。

このような状況下で着任し、不安は尽きませんし、この度も長時間の居室施設が虐待と認定されました。しかし、困難な状況下でも前を向き、ご利用者の方々とともに、今日まで歩んできた職員達となら、いい仕事が出来ると信じております。

本園では、「利用者目線に立った支援」を本格的に実施してまいります。これまで「この方法しかない」「これが最善だ」と、当たり前に行ってきた対応も見直すことになろうかと思えます。私もかつての上司に「できない理由を探すのではなく、どうしたらできるかを考えろ」と言われたことを思い出しました。本来の目的を見失うことなく、知恵を出し合いながら、職員総出で進めてまいります。考えが行き詰まることもあろうかと思えますので、外部の専門家の方のお力も借りながら、また、ご家族・後見人の皆様にもお力添えをいただきながら、よい方向に進んでいけたらと思っています。

着任して、2か月が経とうとしていますが、この間、取り組んでいる仕事のひとつに、コロナワクチン接種の準備があります。ご利用者やご家族の皆様にはコロナ対策として我慢をお願いしていることも多く、ご不便をおかけしておりますが、少しでも早く安心できる環境を整えたいと思っております。食堂で自由に会話を楽しみ会食をしたり、寮に顔を出せる機会を増やしたり…。「普通に」コミュニケーションがとれる毎日が一日でも早く戻ってくることを祈り、「中井やまゆり園」の一員として尽力してまいります。皆様、これからどうぞよろしくお願いたします。